

ティーンズだより みどりの翼



特集 空へ！

Vol. 17

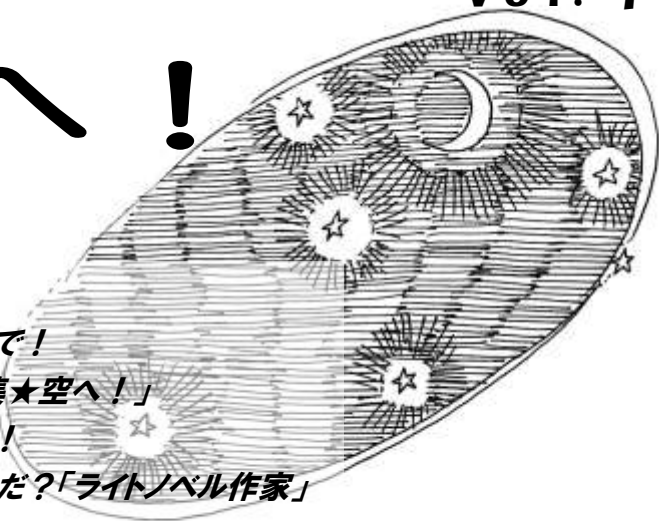
◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで！

Read me! 「特集★空へ！」

気になる、この本！

この人の本、読んだ? 「ライトノベル作家」



この人の本、読んだ?

『ライトノベル作家』

プチ知識!

ティーンズコーナーにはライトノベルがたくさんあります。

今回は、そんなライトノベル作家の中から、オススメの作家を5人ピックアップしました。あなたのオススメの作家がのっていなかったら、ぜひ掲示板に投稿してくださいね!

雪乃紗衣 (ゆきの・さい)

中国のような国、彩雲国で繰り広げられる物語。紅家という名家に生まれた主人公の秀麗。それなのに貧乏で家計は厳しくて……。それでも夢を諦めずに強く生きていく奮闘記。大人気の『彩雲国物語』を執筆しています。

今野緒雪 (こんの・おゆき)

1993年に『夢の宮～竜の見た夢～』で第21回コバルト・ノベル大賞と1993年上期コバルト読者大賞を同時受賞しデビュー。女学院での姉妹の契りを結んだお姉さまと妹の絆と学園生活を見ることができる『マリア様がみてる』はオススメです。

水野良 (みずの・りょう)

『ロードス島戦記』や『魔法戦士リウイ』で知られる作家。主人公が仲間とともに成長していく姿をドキドキハラハラしながら見ることのできる『ロードス島戦記』はオススメです。完結していますが、新シリーズとして『新ロードス島戦記』もあります!

谷川流 (たにがわ・ながる)

会社員を経て、2003年に第8回スニーカー大賞〈大賞〉受賞作『涼宮ハルヒの憂鬱』と電撃文庫刊『学校を出よう! 1 Escape from The School』の同日発売で文庫デビュー。個性的過ぎるキャラ達がおくる破天荒な学園ストーリーの『涼宮ハルヒ』シリーズはオススメですよ!

時雨沢恵一 (しぐさわ・けいいち)

2000年に作家デビュー。「世界は美しくない。そしてそれ故に美しい」というフレーズが印象に残る『キノの旅』シリーズの著者。人間キノが、言葉を話すバイク・モトラド(エルメス)とともに、あちこちの国を旅するお話。『リリアとトレイズ』や『学園キノ』もあります。物語だけではなく、あとがきも楽しませてくれるオススメの著者です。



発行：田原市図書館

発行日：平成19年 1月 20日

〒441-3421 田原市田原町汐見5番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

☆新刊・この本読んで！☆

10月から12月にかけて入った新刊からおすすめの本を選びました。

あなたのお気に入りにはみつかるかな？

「世界を信じるためのメソッド」 森 達也//著 理論社 361/E ティーンズ



世界のいろんな場所で起きている出来事は、瞬時にニュースとして伝わる現代。便利なようだけど、はたして、本当の真実・事実は伝えられているのだろうか？そして、事実は1つなののでしょうか？ふだん何気なく見ている、TVや新聞もこの本を読んだ後では、見方がガラリと変わるかもしれません。ちょっと立ち止まって、大量に流れてくる情報をじっくり考えてみる。そんなメソッド（方法）を教えてくれる一冊！

「世界は決して、単純ではない。複雑で多面的なんだ。」これからの時代に必要なメディア・リテラシーをわかりやすく知ることができます。

「親切なおばけ」 若竹七海//著 光文社 E/ス ティーンズ



物が転がってしまったり、雨漏りがたくさんで大変な家に住む女の子ノコちゃん。そんな家は、年代物、あぶない家、ボロ家、おばけ屋敷などと呼ばれていました。そこに住むノコちゃんを“おばけ”だ！と言って周りの子は遊んでくれずに一人ぼっちでした。ある日、一緒に住むおじいさんが亡くなってしまいます。おじいさんは亡くなる前に、あることをノコちゃんに言いました。その言葉を聞いたノコちゃんのとった行動、家族すら巻き込んでの大騒動、その結末とは・・・？

「哲学的な何か、あと科学とか」 飲茶//著 二見書房 104/ヤ ティーンズ



「哲学」や「科学」と聞くと、ちょっと難しい印象をうけるかもしれませんが。いえ、ちょっとどころではないのかも。でもそんな難しそうなことを、専門用語を使わずにわかりやすく話してしまおうというのが、この本のコンセプト。気楽に、気軽に読めます。

もとは著者が管理する同タイトルのサイトが本になったもの。著者いわく「中毒的に面白すぎる」哲学の魅力に気づいてしまうかもしれません。ただし、後半にちょっと怖い話もできますのでご注意ください。

図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★空へ！

今回のテーマは「空へ！」です。

知っていますか？冬という今のこの寒～い季節は、空気が澄んでいるおかげで、空がとてもキレイに見えるんですよ。特に星空はおすすめです。

少し目線を上に向けてみましょう。いつもの景色が変わって見えるかもしれませんよ♪



「サラシナ」

芝田勝茂//著 あかね書房 2001年 913/シ ティーンズ



ひょうたんを持つと飛べるということがわかってしまったらどうしますか？ひょうたんを持って窓から旅だった主人公サキ。ひょうたんとともに旅立った先は、奈良時代の武蔵の国と恭仁京だった！？旅立った先に偶然出会った不破麻呂に恋してしまい……。一旦、現実に戻ったサキだったが、やっぱり不破麻呂に会いたくて再びひょうたんを手に逢いたいと願ってみると今度は誰かの中に入り込んでしまった！？この恋の行く末は？更科日記をもとに、書かれた物語。原作にも興味が湧く一冊です！

「聴いて楽しむ野鳥100声」野鳥おもしろ雑学事典

山岸哲//著 藪内正幸//作画 インプレス 2004年 488.21/ヤ 一般



身近なようにいてほとんど名前を知らなかったりする鳥。鳥の鳴き声も、聞き分けられるのは、カラスとスズメくらいだったりして……。この本では、日本で出会える100種の鳥について、細密な鳥の絵とともに、特徴と習性、どこで出会えるか、似た鳥にはどんな鳥がいるのか、さらに雑学的な知識もまじえつつ紹介しています。鳴き声も紹介されていますが、文字ではなかなか伝わりにくいです。というわけで、付属のCD-ROMの出番です。これで鳴き声を聴くことができます。癒しのアイテムとしても使えるかもしれません。

「飛行船 空飛ぶ夢のカタチ」

天沼春樹 // 著 KTC 中央出版 2002 年 538.5/ア 一般



空を自由に飛び船・・・飛行船。どこまでも続く空を見上げてみると、鳥のように飛びたくなくなってきませんか？そんな夢に憧れて挑戦し続けてきて生まれた飛行船。実は、今から 200 年以上前にはもう空に舞うことができるようになっていたんです。最初に発明されたのは気球。でも、風を頼りに飛んでいくのではなく、様々な方向に自由自在に操縦して飛んでいきたいと願い、形が変化していった今の形になっていったのです。そんな夢の船が進化していく過程を眺めてみませんか？よい天気散歩のお供にもお薦めな一冊です。

「スカイスポーツパーフェクトブック」

健康ジャーナル社 // 編・著 健康ジャーナル社 2002 年 782.9/ケ 一般



空に飛び立つ方法は一つではないのです！飛びための様々な方法を紹介しているのがこの一冊。スカイダイビング、パラグライダー、自作飛行機などなど。実際の飛んでみた時の不安や驚き、喜びなどの体験談、アドバイスなど説明もついてます。特に、体験談はお薦め！実際に飛ぶのは怖いって人でも、一緒に飛び前から飛んだ時、飛んだ後の気分が一緒に味わえることまちがいなしです。それぞれの飛び方についての体験談がついているので、一気に何種類も飛んだ気分も味わうことができますよ！これ一冊ですぐにも空想でも現実でも飛べるはず！

「風花空心」

湯川潮音 // ことば 東野翠れん // 写真 リトルモア 2006 年 911.56/カ ティーンズ



乙女気分で、空を飛ばような夢見心地、そんな感じの本はいかがでしょう？ページをめくると、透明感のあるどこか懐かしい雰囲気の写真と音符のようにちりばめられたことばの美しい世界が広がります。

元は J-WAVE「Music Plus」のホームページ上で公開されたブログ「東野翠れん plus 湯川潮音 blog」で、それが書籍化されました。

ことばがゆったりのんびりリズムで、心がふわりと空へつれていかれそうな心地よさです。一度おためしあれ。

「生命3」40億年はるかな旅

NHK取材班 // 著 NHK出版 1994 年 461/ニ 一般



生命はいかにして地球上に生まれ、進化してきたかをたどる全5巻のシリーズの第3巻。はじめて大空を支配した翼竜のことや、ダーウィンの進化論の発表後発見された始祖鳥と呼ばれる化石が鳥へ進化する途中の姿であるか、それとも羽のあるハチュウ類であるか大変な議論となり、いまだ答えがでていないことなど豊富な図や写真とともに紹介されています。

今は科学で何でもわかりそうなのに、世界って実はこんなにも謎だらけなんだ、と改めて感じさせてくれます。

「真夜中の飛行」

リタ・マーフィー // 作 三辺律子 // 訳 小峰書店 2004 年 933/マ ティーンズ

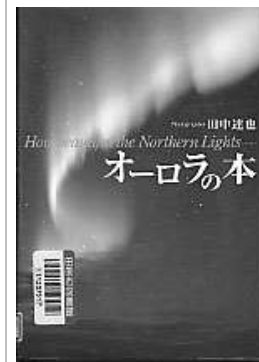


ハンセン家の女たちは、真夜中に空を飛び能力を代々、受け継いでいる。15歳のジョージアも、16歳の誕生日に単独飛行（ソロ）ができるように、叔母について猛特訓中！

厳格な祖母と頼もしい叔母2人、母親と女ばかり5人で住んでいるところへ、一番年上の叔母カルメンがやってきた。自由奔放なカルメンは、なにやらジョージアの知らないハンセン家の秘密をもっていて…。大人の入り口に立ったジョージアの心の動き、自分らしく生きる勇氣、いろんな事を体験して大人になっていく様子が◎。空をとぶときの、眼下にひろがる美しい自然の描写も、とても素敵です！

「オーロラの本」

田中達也 // 著 学習研究社 2004 年 451.75/タ 一般



神秘的な光のカーテン、オーロラ。実際に、見たことはないけれど、誰もが知っている自然現象。そんな美しいオーロラの魅力が満載！の一冊です。美しい写真をみただけでも癒されますが、神話や民話、聖書や日本書紀にも記述があるって知っていましたか？

また、オーロラゾーンとよばれる地域では、年間200日もオーロラがみえる。なんてトリビアな情報も満載です。巻末には、カメラでオーロラを撮影するテクニックがくわしく紹介してあるので、この本を読んで、実物を見たくなくても大丈夫！

同じかたちのオーロラはひとつもなく、太陽風と地球の磁場の衝突という壮大なスケールのオーロラを味わってください。

「空中の王国」九つの愛の物語

マーガレット・マーヒー//作 青木由紀子//訳 岩波書店 1994年 933/マ ティーンズ



「空中の王国」はブランコのりの娘と魔法にかかった王子の物語。サーカスのブランコのりのアクウィリーナ(小さなワシという意味)は生まれてから一度も地上に降りたことがありません。彼女は自分にとって空中ブランコが本物の空中の王国へのドアであることを知っていましたが、サーカスが面白く、その国にいかうとはしませんでした。ところが、魔法にかかった王子に出会い、五年後、そのまた五年後、少しずつ変わっていく王子の姿が空中の王国をめぐる地図であることにアクウィリーナは気づきます。そして・・・。

表題作を含め9編のメルヘンが収録されています。

「一千一秒物語」

稲垣足穂//文 たむらしげる//絵 ブッキング 2003年 E/タ ティーンズ



明治生まれの作家、稲垣足穂の絵本です。作家本人とは生きる時代が違って、作品はずっと残り、平成の今にも、読みつがれていく・・・それだけでもロマンチックじゃありませんか? 「空へ」のテーマからは少しはずれますが、たむらしげるのイラストとともに、足穂ワールドへGO! お月様やほうき星、土星など、夜空をいろいろ月や星のたのしい世界を体験できます。ショートショートなお話がいっぱい、どれも不思議ワールド炸裂ですが、童話の天文学者、足穂さんに一度、出会ってみて下さい。

気になる、この本!

「この本いれて!」

「名探偵コナン探偵たちの鎮魂歌(レクイエム)」 ペンネーム: I LOVE コナン

コナンがらん達のために命がけ!?で、なぜをとくのがカッコイイ。

図: 「名探偵コナン」の映画コミックは図書館でも人気です。本作は所蔵していなかったもので、早速発注しました。入るのをどうぞお楽しみに!

他にもこんな本あります♪

○「DIVE!!」

森絵都//著 講談社 2000年 913.6/モリ ティーンズ

高飛び込みでオリンピックを目指す少年たちの青春スポ根小説。全4巻。

○「フラネタリウムのふたご」

いしいしんじ//著 講談社 2003年 913.6/イシ ティーンズ

星が見えない村のプラネタリウムで拾われた双子の物語。

○「とぶ船」

ヒルダ・ルイス//作 石井桃子//訳 岩波書店 1966年 933/ル ティーンズ

ピーターが買った小さな船は実は魔法の船で・・・空を飛び時間までも飛び越える!

○「キリック 翼の冒険者」

クライヴ・ウッドオール//著 ソニーマガジnz 2005年 933.7/ウツ ティーンズ

鳥には鳥の国がある。想像力をかき立てられる鳥が主人公の物語。

○「詩集 すみわたる夜空のような」

銀色夏生//著 角川書店 2005年 911.56/ギン ティーンズ

読んでどう感じるか人それぞれ・・・寂しくなるか、勇気がでるか、それとも・・・

○「夜空を歩く本」

林完次//写真・文 インデックス・コミュニケーションズ 2006年 443/ハ 一般

夜空の写真に詩的な言葉がそえられています。こんな夜空を実際に見たいですね。

○「かようびのよる」

デヴィッド・ウィズナー//作・絵 当麻ゆか//訳 徳間書店 2000年 E/ウ ティーンズ

火曜日夜8時ごろ、アメリカのとある町でおこった不思議な事件とは?

○「綱渡りの男」

モーディカイ・ガースティン//作 川本三郎//訳 小峰書店 2005年 E/ガ ティーンズ

ニューヨークの高層ビルの間を綱渡りした男のはなし。実話が元になっています。

○「スーム」

イシュトバン・バンニャイ//著 翔泳社 1995年 726.6/バ 一般

にわたりのトサカから宇宙まで。え? なんのことかって? それは見てのお楽しみ!



★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。カウンターなどで気軽に声をかけてね!

* 次回のテーマは「スイーツ」です。お楽しみに!